

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 252-8567
 住 所 神奈川県座間市東原5-1-11
 氏 名 株式会社シーイーシー
 代表取締役社長 柏木 茂 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社シーイーシー		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市宮前区宮崎2-9-16		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	G	情報通信業
	中分類	39	情報サービス業
主たる事業 の内容	ソフトウェア開発業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,868	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	管理本部 総務部
		所在地	東京都渋谷区恵比寿南1-5-5JR恵比寿ビル8F
		電話番号	03-5789-2441
		FAX番号	03-5789-2581
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 2,951 t-CO ₂ (調) 2,361	(実) 3,428 t-CO ₂ (調) 2,731	(実) 3,264 t-CO ₂ (調) 2,599	(実) 3,051 t-CO ₂ (調) 2,431	(実) 4,668 t-CO ₂
削減率		(実) -16.2 % (調) -15.7	(実) -10.6 % (調) -10.1	(実) -3.4 % (調) -3.0	(実) -58.2 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	売上高		単位	t-CO ₂ /百万円	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	0.4049	0.3847	0.4159	0.5685	0.3885
削減率		5.0 %	-2.7 %	-40.4 %	4.1 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	温室効果ガスの排出量は夏場の猛暑の影響などにより増えているが、売上高が増えたことにより、原単位で見ると5%削減することができた。
第2年度	温室効果ガスの排出量は基準年度に対しては1割増となっているが、目標排出量を遵守すべく、努力している。 原単位削減率については、今後も目標年度の値をクリアできるよう努力していく所存です。
第3年度	排出量については、前年度、前々年度に対し順調に削減されたが、原単位の活動量（売上高）の減少が響き、排出量原単位の削減に至らなかった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	<p>○二重窓、複層ガラス等の採用による断熱強化 ⇒次回、大規模改修時に対応予定 (テナントのため)</p> <p>なお、弊社入居ビルはオーナーの意向により、既に各種対策が実施済みとなっております。</p>
	第 1 年度	<p>○主要設備の新規導入 (照明) 自社ビル改装に伴い、1F・2FにWエコ、3F~5FにLEDの導入を行った。</p>
	第 2 年度	<p>○冷凍機 (チラー) の稼働制御 ○UPS最適化 (2台停止)</p>
	第 3 年度	<p>○使用していない部屋の消灯の徹底 【実施場所】 : 宮崎台システムラボラトリ 神奈川第二データセンター</p>
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none">1. グリーン購入の推進を行う。2. 廃棄PCの分別化を行い、再利用可能なものは再用品として利用する。3. 社内文書電子化を推進し、紙資源の節約を行う。
第1年度	<ol style="list-style-type: none">1. 事務用品及びコピー用紙等に対してグリーン購入の推進を行った。2. 社内文書の電子化の推進を行った。
第2年度	<ol style="list-style-type: none">1. グリーン購入の推進。2. 社内文書の電子化の推進。3. 植林活動の推進
第3年度	なし

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,383	t-CO ₂
(調)	3,375	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
神奈川第二データセンター	*****	3921	情報処理サービス業	3,222 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	1

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--